



2010

平成 22 年

展開期

多様化する町民ニーズに対応しながら、町の誇りを内外に PR 展開

平成 7 年

1995

- 1995 平成 7 年
 - 10月 ● 第50回国民体育大会ソフトボール競技成年男子2部開催
- 1996 平成 8 年
 - 4月 ● 町公共下水道一部供用開始
 - 児童館開館
 - 皇太子ご夫妻来町
 - 5月 ● 皇太子向妃両殿下行啓記念館建立
- 1997 平成 9 年
 - 11月 ● 保健福祉センター「やすらぎ園」利用開始
- 1998 平成 10 年
 - 4月 ● 幼稚園預かり保育開始
- 1999 平成 11 年
 - 3月 ● 睦合ふれあい会館落成式
 - 4月 ● 小学校放課後児童保育開始
- 2000 平成 12 年
 - 4月 ● 醸芳保育所0歳児保育、睦合・伊達崎・半田醸芳幼稚園で3年保育開始
 - 8月 ● 町学校給食センター完成
- 2001 平成 13 年
 - 3月 ● 醸屋の杜公園整備完了
 - 4月 ● 伊達崎排水機場稼動
 - 5月 ● 地域子育て支援センター開始
- 2002 平成 14 年
 - 9月 ● 5代目町長に林王壽久氏就任
- 2003 平成 15 年
 - 3月 ● 地域交流センター「醸芳小学校体育館」完成
 - 12月 ● 伊達7町合併協議会設立
- 2004 平成 16 年
 - 3月 ● 内之馬場浄水場完成
 - 8月 ● 公立藤田総合病院新築
 - 9月 ● 伊達7町合併協議会から離脱
- 2005 平成 17 年
 - 4月 ● 桑折駅前広場完成
 - 5月 ● 福島蚕糸跡地取得
 - 10月 ● 奥州羽州街道「桑折茶屋まわり」開催
 - 元氣街道フォーラム開催
 - 11月 ● 町制施行50周年記念式典開催
- 2006 平成 18 年
 - 2月 ● 町営庫房地完成
 - 4月 ● 桑折町新長期総合計画「新生こおり21プラン」策定
 - 6月 ● 産ヶ沢川ホテル自然公園完成
- 2007 平成 19 年
 - 4月 ● 「第4次桑折町行政改革大綱」二集中改革プラン策定
 - 5月 ● 桑折御蔵開館
 - 10月 ● 「桑折代官西重次郎封元たかじゅうじろう」の墓所と「桑折代官藤方彦市郎忠列の墓所」が町の史跡として文化財指定
 - 11月 ● 国土交通省「平成19年度手づくり郷土賞」を「奥州街道と羽州街道の追分」受賞
- 2008 平成 20 年
 - 1月 ● 「旧伊達郡役所」半田山自然公園が福島遺産100選に認定
 - 4月 ● 「桑折町七毛園」スタート
 - 御蔵通松が「無能寺の笠マツ」として県の文化財(天然記念物)に指定
 - 10月 ● 羽州街道サミット開催
 - 12月 ● 国道4号桑折駅入口地下歩道完成
- 2009 平成 21 年
 - 2月 ● 「一般農道桑折西部線、桑折ビーチライン」開通
 - 「桑折」猫めぐり始める
 - 3月 ● 街道を活かしたまちづくりフォーラム開催
 - 5月 ● 桑折町4地区に地区民自治協議会発足
 - 6月 ● 桑折町観光大使「ホタビー」お披露目
- 2010 平成 22 年
 - 2月 ● 小中学校の全学年に電子黒板導入
 - 伊達崎小耐震・大規模改修工事完成
 - 7月 ● 桑折町総合型地域スポーツクラブ「マルベリー」設立
 - 6代目町長に高橋博博氏就任
 - 10月 ● 東北地方防災訓練・桑折町地域防災訓練(伊達崎地区)

桑折町では、従来にも増して町民ニーズが多様化し、その期待に応えるための事業が展開されました。少子高齢化や核家族化など社会環境の変化に伴い、各種の子育て支援事業に取り組みました。また、平成13年には町政に対して町民の信頼と理解を深めるために、情報公開条例が制定されました。そして平成17年1月には、桑折町が誕生してから半世紀となる50周年を迎え、11月には記念式典を開催しました。平成20年には「旧伊達郡役所」「半田山自然公園」が福島遺産100選に選定。平成21年には桑折町観光大使「ホタビー」も誕生し、「桑折ビーチライン」も開通。町の誇りを広く内外に伝えるための様々な働きかけを行いました。

平成22年から、地震などによる災害を想定した町地域防災訓練が伊達崎地区より始まりました。

文化や自然の魅力を活かしたまちづくりが活発に



あの日あの時
皇太子ご夫妻行啓
桃源郷の里を訪問
〔平成8年4月〕

桑折の桃が平成6年から皇室へ献上されていることが縁で、平成8年4月、皇太子殿下・雅子妃殿下が町を訪問され、阿武隈川沿いの桃畑におり桃源郷を散策されました。これを記念して同年5月には、同地に「高殿下行啓記念碑」が建立されました。ほんごのマスコミは報じませんでしたが、高殿下と福島は縁が深く、東日本大震災の後、皇族方で最初に福島県の仮設住宅を見舞われたのは、皇太子殿下・雅子妃殿下でした。桑折町の桃は、平成6年以降20年以上も連続して天皇家・宮家に献上されています。